

『塵劫記』刊行 400 年記念第 2 回シンポジウム

主催 日本数学史学会

じんこうき

令和 9 年(2027)は吉田光由が『塵劫記』を刊行して 400 年になります。寛永 4 年(1627)に作られたこの 算術書は、江戸時代だけでなく現代人の心を揺る知的で 魅力的な問題に溢れています。なかでも継子立ての遊 戲問題をはじめとして、鼻紙で木の高さを量る測量問題 (左図参照) やねずみ算問題などは測量術や計算技術習 得の初步として歓迎されたものです。その一方で、江戸 時代初期の国際貿易の事情を反映した題材も登場して いて、17 世紀初頭の日本を取り巻く国際環境を数学史 から理解できる史料にもなっています。

多様性と国際性に富む『塵劫記』に親しむための第 2 回 シンポジウムを開催します。これを機会に江戸時代の算 術とその背後にある文化を理解してみませんか。是非ご 参加を!!!



『塵劫記』：木のたかさをはなかみにてつもる事
日本学士院蔵：請求記号 0557

第2回 2025年4月27日(日曜日)

・基調講演

13:30~14:50 講師:四日市大学名誉教授 小川 束

演題:「珠算書としての『塵劫記』を読む～正し い読み方を探る」

・シンポジウム

15:00~15:30 テーマ:現代史から観る『塵劫記』の面白さ

コーディネーター:日本数学史学会副会長 張替俊夫

パネリスト:四日市大学名誉教授 小川 束

四日市大学関孝和研究所研究員 曽我 昇平

四日市大学関孝和研究所研究員 中井 保行

・会場:京都橘大学(京都市山科区大宅山田町 34)の啓成館 101 教室(予定)。リモート (Zoom)による視聴も可能です。大学構内に駐車場はありません。

・参加費:無料

・申し込み:直接会場へお越し下さい。リモート(Zoom)視聴の場合は日本数学史学会のホ ームページ (<https://suugakushi.com>) から申し込んでください。

・協力団体:数学教育協議会 全国数学教育学会 日本科学史学会 日本数学会 日本数学教 育学会 吉田光由悠久会 四日市大学関孝和数学研究所 和算問題教材化研究 会 各県和算研究会 京都の寺院

・後援(予定):京都府 京都府教育委員会 京都市 京都市教育委員会